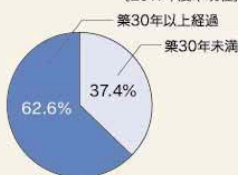


## 札幌市が抱える課題

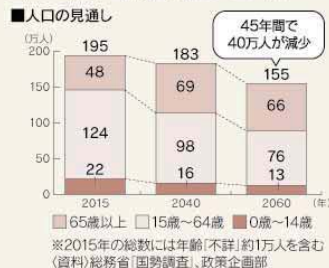
人口の増加に伴って、経済規模の縮小や社会保障にかかる費用の増加が心配される。また、建物の建て替えにも多くの費用が必要になるんだよ。

**公共施設の多くが老朽化**  
1972年の札幌オリンピックのころに建てられた公共施設が多く、これから続々と更新時期を迎えるため、建て替えや修繕を計画的に行っていく必要があります。

■築30年以上経過した公共施設の割合  
[2017年度末現在]



**人口が減少し高齢者の割合が増加**  
15歳から64歳の人口が、2060年までに48万人減少する一方で、65歳以上の人口は18万人の増加が見込まれます。



## 目標とする「未来のさっぽろ」の姿

### ①誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街

安心して生き生きと生活し、市民であることに誇りを持つ街を目指します



### ②世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街

新しい取り組みに挑戦し、国内外から人が集まる、魅力あふれる都市を目指します



市内に出回るお金が増える

課題がある中でも、都市の魅力と活力をさらに高めて、2つの「未来のさっぽろ」の実現を目指しているんだ



次のページからアクションプランの内容を見ていきます！

# さっぽろの今後4年間のまちづくり計画が完成

札幌をより暮らしやすく、魅力的な街にしていけるために、市ではまちづくりの計画「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」を策定しました。ここではその特徴や具体的な取り組みを、広報さっぽろキャラクター・ギョウ太と一緒に見ていきます。

【詳細】まちづくりの取り組みは政策調整課☎211-2206  
行政運営の取り組みは推進課☎211-2061  
財政運営の取り組みは財政課☎211-2212



### 登場人物

**ギョウ太**  
南区で太古の化石が発見されたジュゴンの仲間「サツポロカイギョウ」の子孫。世話好き

**ヒロキ**  
道外出身で寒さが苦手。少しドジだが、どこか憎めない

**リコ**  
ヒロキの2歳年上の妻。ヒロキの失敗をいつも優しく見守る



## プロジェクト2

### すべての市民の活躍を応援するまちづくり

子育て世代が安心して働ける環境づくりに取り組むほか、高齢の方や障がいのある方などすべての市民が活躍できるまちづくりを進めます。

#### ■私立保育所などの整備を支援

175億5,800万円

保育定員を増やすため、私立保育所や認定こども園の整備に必要な費用を補助。また、古くなった施設を更新して、地震に強く、安全な保育環境を確保します。



#### ■幅広い就職支援を実施

6億9,600万円

就業サポートセンターなどの就労支援施設で、仕事の紹介やセミナーなどを実施。同センター内にシルバー人材センターの窓口を常設し、高齢の方の就職を支援します。



#### ■保育人材の育成・確保を後押し

17億7,100万円

現在保育所などに勤務していない保育士や学生に市内保育所などへの就職を支援。また、継続して働く方を対象に一時金を給付するなど、人材確保に向けた取り組みを行います。

#### ■子ども医療費助成制度の拡充

175億900万円

子育て支援環境の充実を図るため、子どもの通院医療費の助成対象を小学6年生まで拡充します。



## プロジェクト3

### 子どもを健やかに育てるまちづくり

すべての子どもたちが健やかに育ち、学ぶことができる環境を整えていくとともに、子どもが安心して暮らせるよう、児童虐待に的確・迅速に対応するための取り組みを進めます。

#### ■医療的ケアが必要な児童らへの支援体制の充実

7億8,300万円

日常的にたんの吸引などの医療や人工呼吸器が必要な子どもを支えるため、小・中学校や公立保育所、児童クラブへ看護師を配置。そのほか、障がいのある方の生活をサポートする事業所へ、医療機器の整備費用を補助するなど、支援の充実を図ります。

#### ■(仮称)第二児童相談所の整備、各区での相談支援体制の強化など

8億9,300万円

児童虐待への対応を素早く的確に行っていくため、2カ所目の児童相談所の整備に着手。また、各区保健センターに母子保健相談員を配置するなどして、妊娠前から切れ目なく子育てを支援する体制を強化します。



札幌の未来のためにも、子どもたちがもっと元気で楽しく暮らせる街になるといいよね

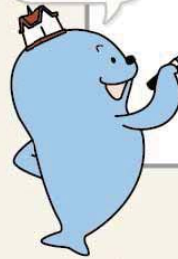
次のページで紹介するね



## アクションプラン2019のポイント

- 事業の数は613、事業費は合計で1兆254億円
- 今後15年間の財政収支を見据えた上で、4年間の事業費と財源を見直し、計画を策定
- 市民の多様な暮らしを支える取り組みに力点を置き、さらに、街の魅力と活力を高めるための都市のリニューアルを積極的に推進
- 持続可能なまちづくりに向けて、事業の成果をSDGs\*の目標と関連付けてSDGsの視点を導入

前回のアクションプランの取り組みに加えて、超高齢社会に対応するため、福祉の充実にも力を入れていくよ



\*SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは? 経済格差、気候変動、貧困など世界が抱えるさまざまな課題の解決に取り組み、持続可能でよりよい世界を目指すために国連が定めた、2030年に向けた国際目標のこと



### 重点的に取り組む

## 5つのプロジェクト



613の事業の中から一部を紹介するよ

## プロジェクト1

### 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり

いつまでも健康で長生きができ、高齢の方や障がいのある方も住み慣れた地域で安心して生活できるような取り組みを進めます。

#### ■基幹型地域包括支援センターを区役所に整備

2億1,800万円

介護をはじめとした、さまざまな課題を抱える世帯に必要な支援につなげられるよう、区役所の機能を強化します。



#### ■健康寿命の延伸をサポート

2億1,700万円

健康で暮らせる期間を延ばすため、働く世代が取り組める健康づくりを支援。また、地域や区の特徴を生かしたウォーキングや健康づくりのイベント、講座などを全区で行います。



そのほか 重度訪問介護の介護時間数について、障がいや生活状況などに応じて、よりきめ細やかに決定する方法を導入(8億9,200万円) など

## 行政運営の主な取り組み～仕事の進め方の工夫

限られた人員でより質の高いサービスを提供できるよう、市民や企業と連携した取り組みを進めるほか、市役所内部の業務の効率化を図ります。

### 市民・企業などとの協働

孤独死の防止のため、宅業者などの民間事業者と連携し、見守り体制の充実を図る など

### 業務の効率化・生産性の向上

各市税事務所で行っている収納管理や郵送証明業務を1カ所に集約して業務を効率化 など

### 市民サービスの高度化

区役所での待ち時間の短縮や申請書類の簡素化、手続きの一括対応、大型ごみ収集の申し込みをはじめとした手続きのオンライン化の推進 など



### 組織力・職員力の向上

外部の有識者などの意見や専門的な知識、民間の経営感覚を取り入れるための制度を導入 など

### 自治体連携

近隣11市町村と連携し、人材の地元定着に向けた取り組みを実施 など

## 財政運営の主な取り組み～お金の使い方の工夫

都市基盤の再整備や子ども・子育ての支援などに積極的に投資をする一方で、将来の世代に過度な負担を残さない健全な財政運営を行うなど、バランス感覚を持ってお金の使い方や集め方を工夫します。

### 予算編成方法を工夫

将来にわたって必要な行政サービスを提供できるよう、今後15年間の財政収支を見据えた上で、4年間の収支の大枠である中期財政フレームを作成して進捗を管理します。

### 市税収入の増加を図る

市税の収納対策を強化する、利用の見込みのない市有地を売却することで固定資産税の増収を図るなど、財政基盤の強化を図ります。

### 収入と支出の見直し

行政サービスを効率化して人件費を抑えるほか、複数の公共施設を1カ所にまとめるなどの工夫により、施設の建て替えにかかる費用の削減に努めます。また、サービス提供のためのコストと料金を見直し、受益者負担の適正化を図ります。

### 市債や基金の適切な管理

将来の世代に過度な負担を残さないよう、市債残高の管理を行います。また、お金を積み立てている基金の残高についても、適切な水準を保ちます。

**アクションプランの冊子を配布します**  
アクションプランをまとめた速報版を配布中です。そのほか、アクションプランをわかりやすく解説したパンフレットも3/23(月)から配布します。

配布中  
3/23(月)～

配布場所  
区役所、市役所5階政策調整課ほか

ホームページからご覧になれます  
札幌市アクションプラン2019 検索

## プロジェクト4

### 人材を育み成長を続ける躍動のまちづくり

将来を担う若い世代が札幌の街に住み続けられるように支援するほか、人手不足が深刻な分野を中心とした人材確保の取り組みを実施。また、都市のリニューアルや観光にも力を入れて、街の魅力をさらに高めていきます。

#### 働く人材の確保・育成の推進

2億8,300万円

介護や障がい福祉、建設分野やIT産業の企業向けに、人材の確保や育成を強化するための研修などを行います。さらに、道内で働きたい方と企業をつなぐイベントなどを道外で開催。札幌で働き、住み続ける若者を増やすことを目指します。

#### 都心に冬のアクティビティーを創出

9,000万円

北3条広場にスケートリンクを設置するほか、ホワイトイルミネーションを活用して、夜の観光の魅力を高め、新たな冬の楽しみ方を提供。観光客の増加や都心のにぎわいにつなげます。



そのほか 北海道新幹線の札幌開業を見据えて、北5西1・西2地区の再開発や周辺地区の開発を支援(125億円) など

## プロジェクト5

### 将来を見据えた魅力と活力にあふれるまちづくり

持続可能な形で都市の魅力と活力に一層磨きをかけるため、スポーツの力を生かしたまちづくりを推進。また、環境に優しいエネルギーの導入などに引き続き取り組みます。

#### 冬季オリンピック・パラリンピックの招致

10億300万円

次世代に過度な負担を残すことのない、まちづくりと連動した大会の計画を策定するとともに、開催の機運を高める取り組みを続けていきます。



#### 公共施設などのバリアフリー化を推進

12億9,900万円

区役所や公園のほか、バスターミナル、地下鉄駅などの施設、多くの方々が利用する民間の施設などのバリアフリー化を推進します。



そのほか 低炭素で持続可能なまちづくりに向け、都心部のビルや施設に対して熱を効率的に供給できるエネルギーネットワークの構築や、省エネルギーへの建て替えを促進(3億500万円) など

これからの取り組みを着実に進め、仕事の進め方やお金の使い方、工夫していくよ

人手やお金は足りなくならないの？

でもちよっと待って

いろいろなことに取り組んでいくんだね。これから札幌がどうなっていくのか楽しみだ